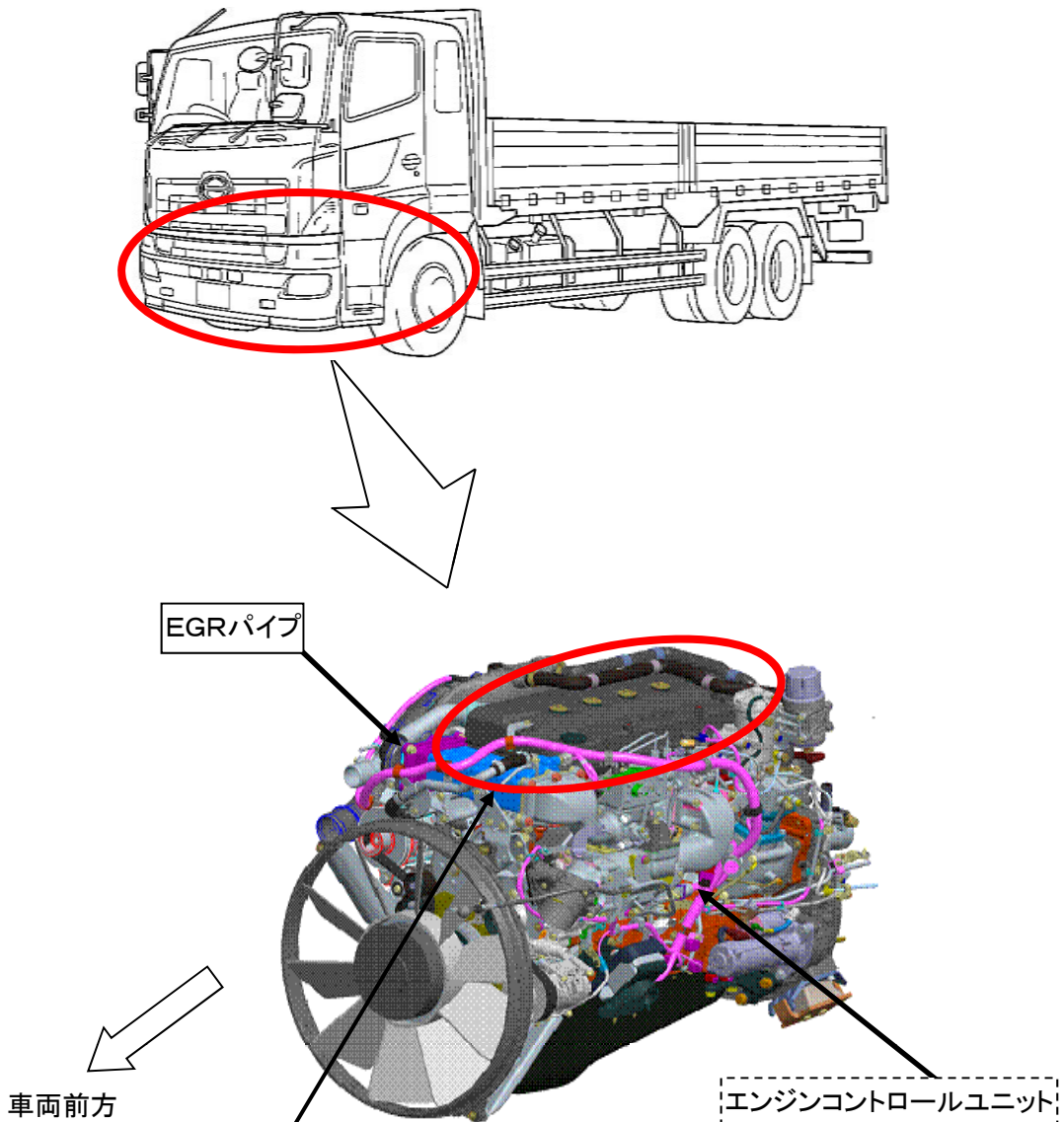


## 改善箇所説明図



### 基準不適合発生箇所

注：  内は交換部品を示す。  
 内は制御プログラムを書き換える部品を示す。

大型トラックにおいて、エンジン制御プログラムと排気ガス再循環（EGR）パイプの構造が不適切なため、停車中のDPR（排出ガス浄化装置）の自動再生と手動再生が頻繁に中断された場合に、EGRクーラ内でカーボンデポジットが生成されて吸気バルブに付着し、外気温が低い状態で長時間駐車されるとカーボンデポジットの粘度が増加することがある。そのため、エンジン始動した際、吸気バルブが摺動不良となり、最悪の場合、バルブが折損し、異音が発生するとともにエンジンが停止するおそれがある。

### 改善の内容

全車両、エンジン制御プログラムを書き換えるとともに、EGRパイプを対策品に交換する。

識別：サーモケースカバーに白色ペイントを塗布する。